



追加型投信 / 海外 / 債券

PIMCO ニューワールドインカムファンド <世界通貨分散コース> (毎月分配型) 決算・分配金のお知らせ

ファンド情報提供資料
 データ基準日: 2016年9月20日

平素より、「PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース>(毎月分配型)」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは2016年9月20日に第37期の決算を迎え、当期の分配金を前期の70円(1万口当たり、税引前)から50円(1万口当たり、税引前)に引き下げましたことをご報告申し上げます。

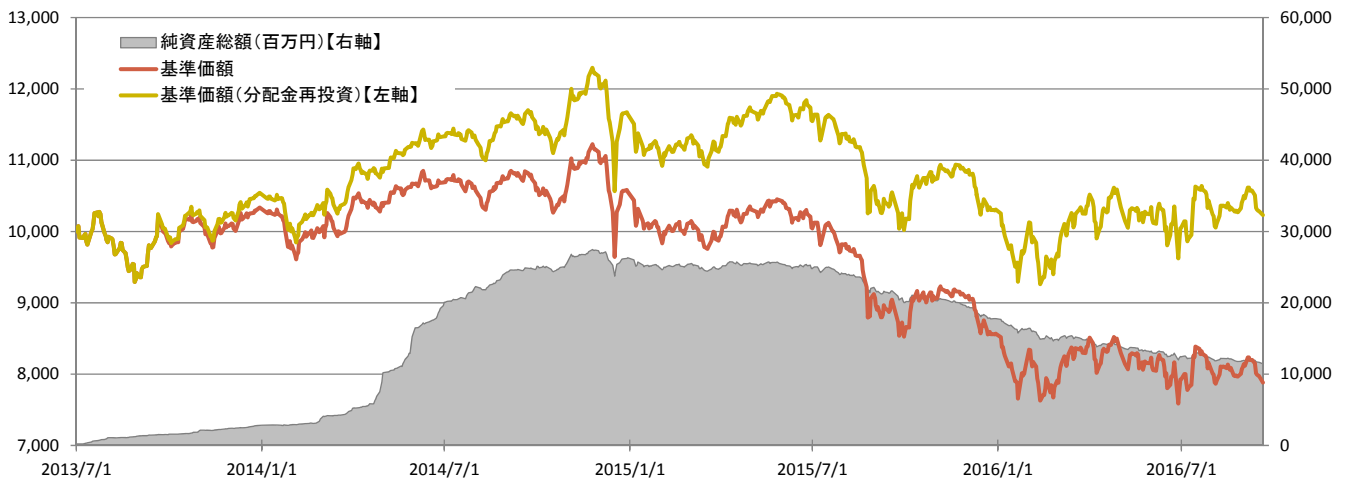
今後とも引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

分配金と基準価額(2016年9月20日)

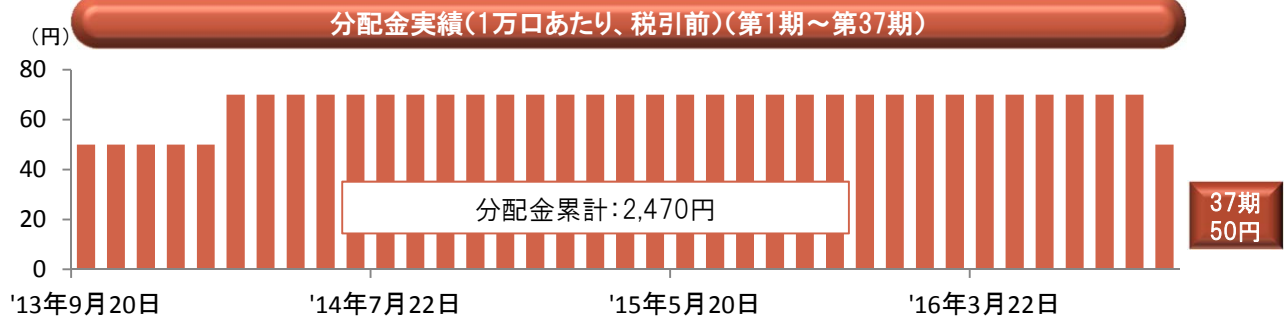
分配金(1万口当たり、税引前)	50円
基準価額(1万口当たり、分配落ち後)	7,883円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。
 ・基準価額(1万口当たり)は、信託報酬控除後のものです。

基準価額と分配金の推移(期間: 2013年7月1日(設定日)~2016年9月20日)



・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日を10,000として指数化しています。
 ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。
 ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。



・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。
 ・分配金実績は初回決算月(2013年9月)から掲載しております。

■ 上記は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。

PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース>(毎月分配型)

分配金引き下げについて

基準価額の水準や市況動向等に加え、経費控除後の配当等収益と売買益等の分配対象額も減少傾向にあること等を総合的に勘案した結果、分配金を50円(1万口当たり、税引前)とすることといたしました。

当ファンドの基準価額(分配金再投資)は、新興国債券市況が総じて堅調に推移したことを背景に、2016年8月末時点で設定時と比べて4.5%上昇していますが、基準価額は2016年8月末時点で8,104円となっています。

上記のような状況の中、当ファンドでは基準価額の水準、市況動向等に加え、分配原資の状況等を総合的に勘案し、分配金の水準を下げ信託財産の成長を図ることが中長期的には投資家の皆さまの利益につながると考え、分配金の見直しを行うことといたしました。

2016年初来の新興国債券市場の振り返り

新興国債券市場は、中国の景気減速や個別国の地政学的リスクの高まりを受けて市場変動幅の大きい展開となりましたが、資源価格の反発や各国中央銀行による緩和的な金融政策の維持等が下支え要因となり、2016年初来では上昇する結果となりました。2016年初には、中国経済の先行き不透明感、原油価格の下落などを受けリスク回避姿勢が高まったことから、新興国債券市場は軟調な推移となりました。しかしその後、原油に代表される資源価格が反発したことや、中国当局が景気浮揚対策を発表したことなどから市場心理は好転し、新興国債券市場は上昇しました。その後、英国のEU(欧州連合)離脱を巡る国民投票で市場の予想に反し、離脱派が勝利したことやトルコでの軍事クーデター未遂などをを受けて一時的にリスク回避姿勢が強まる場面もあったものの、市場参加者の利回りを求める動きや米国の利上げ観測の後退などを背景に新興国債券市場は堅調となりました。

(出所)ピムコジャパンリミテッドの情報を基に三菱UFJ国際投信作成

2016年初来の世界通貨(対円)の振り返り

2016年初来では、世界景気の先行き不透明感に対する懸念の高まりなどから円に対する需要が高まり、世界通貨分散コースで実質的に投資する多くの通貨に対して円高が進行しました。米ドルに関しては、FOMC(米連邦公開市場委員会)で軟調な米経済指標や世界景気に対する不透明感を背景に当初見通しよりも利上げ回数が少なくなる可能性が示唆されたことなどから円高・米ドル安となった他、英ポンドについては、英国のEU離脱を巡る国民投票で市場の予想に反し、離脱派が勝利したことなどをを受けて、対円で大幅に下落しました。一方、ブラジルレアルに関してはブラジルの政治的不透明感の高まりなどから軟調となる場面があったものの、原油価格が反発したことやルセフ大統領(当時)に対する弾劾プロセスの進展、新政権による財政健全化やインフレ抑制に対する期待感などを背景に対円で堅調となりました。

(出所)ピムコジャパンリミテッドの情報を基に三菱UFJ国際投信作成

■本見通し不分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース>(毎月分配型)

新興国債券市場の推移(米ドルベース)

世界通貨(対円)の推移



(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

- ・「世界通貨」は、豪ドル、ブラジルレアル、メキシコペソ、カナダドル、インドネシアルピア、インドルピー、韓国ウォン、ロシアルーブル、トルコリラ、ユーロ、英ポンド、米ドルの各変動率の平均を指数化(2011年3月31日=100)したものです(合成通貨値)。
- ・JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している米ドル建ての新興国債および国債に準じる債券のパフォーマンスを表す指数で、指数構成国の債券発行残高に応じて構成比率を調整した指数です。同指数の著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。
- ・JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドは、当ファンドのベンチマークではなく、運用実績を示すものではありません。

【新興国債券市場の今後の見通し・運用方針】

新興国諸国は、相対的に低い債務残高や潤沢な外貨準備などを考慮するとファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)が良好であると見ており、今後も相対的に高い経済成長を見込んでいるものの、個別国間の格差は拡大していくと見ています。また、新興国債券市場の見通しを考える上で、世界経済鈍化の可能性、各国金融政策、原油価格の三点に留意する必要があると考えています。

第一に、世界経済については、短期的に後退局面に陥るリスクは低いと見ています。

第二に、各国金融政策については、FRB(米連邦準備制度理事会)は慎重なペースで利上げを実施すると見ており、過度な懸念は不要と考えています。一方でECB(欧州中央銀行)や日銀など主要中央銀行による金融緩和政策維持は支援材料となると見ています。

第三に、原油価格については、価格変動が高まる局面には注意が必要であると考えているものの、今後は安定的に推移すると想定しています。

上述の市場変動性を高めるリスク要因や新興国諸国のファンダメンタルズ格差を考慮すると、各国の財政状況や対外収支状況などの分析に基づいた投資対象国の慎重な選別が重要となります。また足下の新興国債券市況の上昇により一部の新興国諸国ではバリュエーション(投資価値基準)面での割高感も見られることから、バリュエーション面での配慮が必要と考えています。具体的には、新政権による財政再建化策の進捗には注意を要するものの、豊富な外貨準備に裏打ちされた支払い能力を持つブラジルや原油の経済に対する感応度は高いものの外貨準備などを背景とした十分な対外支払い能力を有するロシア、政府によるインフラ投資と内需拡大を背景に持続的な経済成長が期待できるインドネシアなどについて積極姿勢とする方針です。一方、GDP(国内総生産)に対する債務水準が高いウクライナや外貨準備高が債務に対して低いハンガリーなどについては、地政学的リスクや脆弱なファンダメンタルズなどを考慮し、消極姿勢とする方針です。

【対象通貨(対円)の今後の見通し・運用方針】

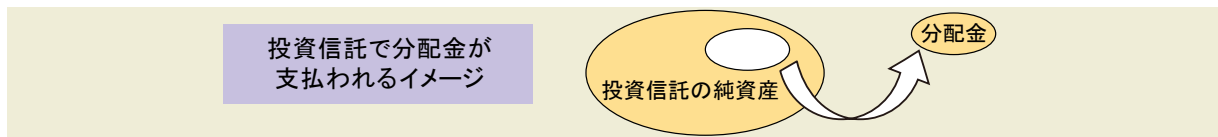
世界通貨分散コースで実質的に投資する各通貨については、短期的には米国の大統領選挙や日銀の「総括的検証」などの相場変動要因に注意が必要と考えているものの、底堅く推移する商品価格などが市場参加者のリスク許容度の改善などを通じて支援要因になると見ています。中期的には、依然として金融緩和段階にある日銀と各国中央銀行との金融政策の差などが支援要因となり、円に対して安定的に推移すると見込んでいます。

(出所)ピムコジャパンリミテッドの情報を基に三菱UFJ国際投信作成

■ 上記は過去の実績・状況です。本見通しなしいし分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。■ 上記は指数を使用しています。■ 計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

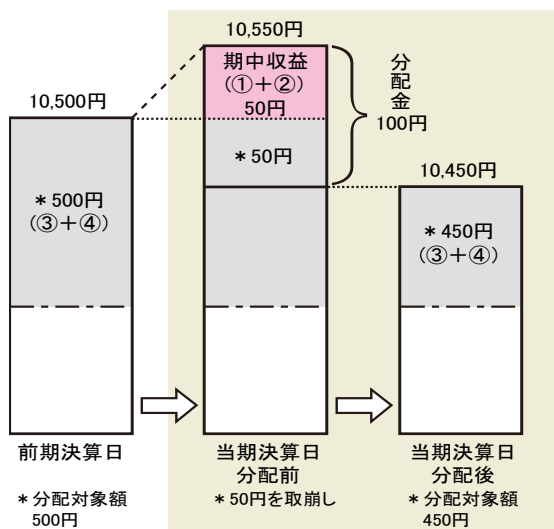


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

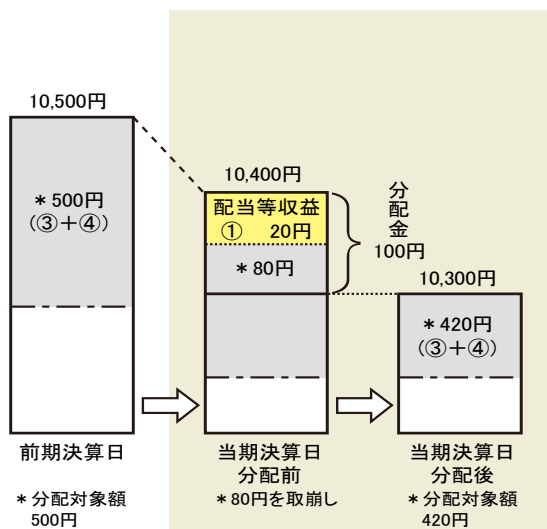
分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。
分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

(計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合)

(前期決算日から基準価額が上昇した場合)



(前期決算日から基準価額が下落した場合)



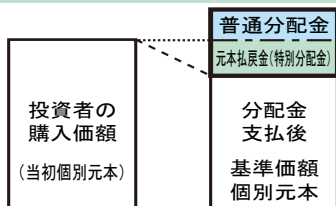
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金: 当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金: 追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

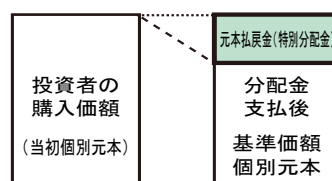
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

(分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合)



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

(分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合)

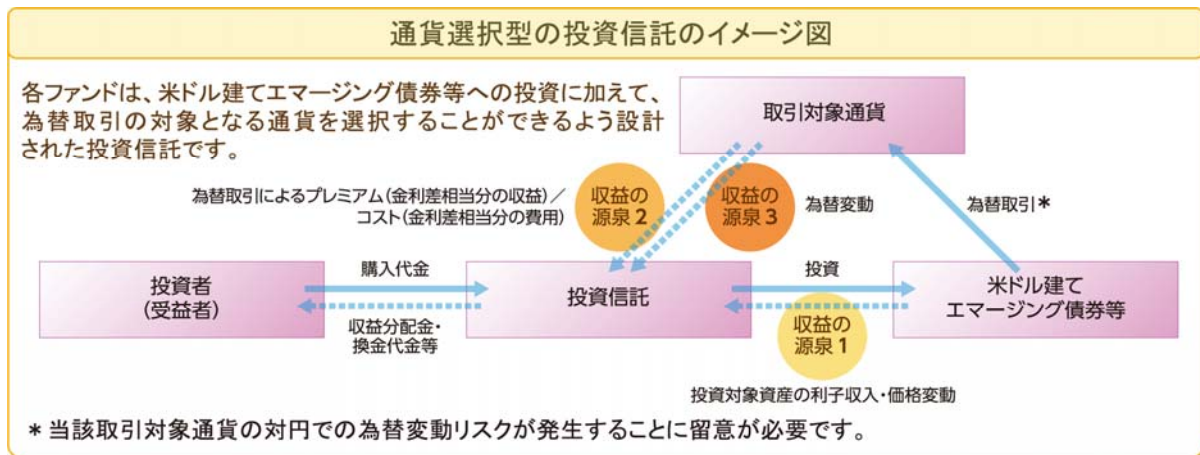


普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

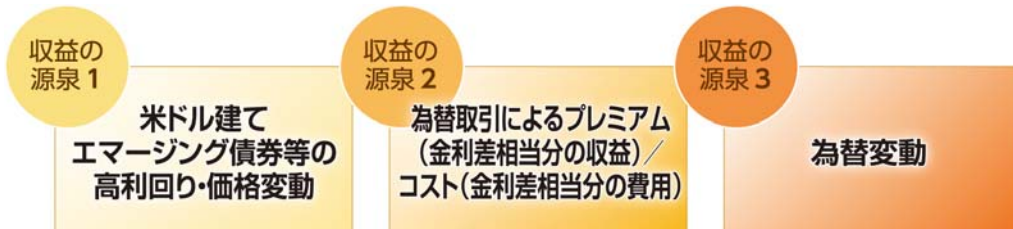
元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

■通貨選択型ファンドの収益のイメージ



● 各ファンドの収益の源泉としては、以下の3つの要素があげられます。



● 各ファンドにおける収益の源泉と基準価額の変動要因は以下の通りです。

それぞれの収益源に相応してリスクが内在していることに留意が必要です。



ただし、為替市場の状況によっては、為替取引によるプレミアム/コストが、金利差相当分からカイ離する場合があります。

PIMCO ニューワールドインカムファンド

ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

米ドル建てを中心とした世界のエマージング債券等を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。

■ファンドの特色

PIMCO ニューワールドインカムファンドは、以下の8本のファンドで構成される投資信託です。

<豪ドルコース>(毎月分配型)	／	<豪ドルコース>(年2回分配型)
<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	／	<ブラジルリアルコース>(年2回分配型)
<メキシコペソコース>(毎月分配型)	／	<メキシコペソコース>(年2回分配型)
<世界通貨分散コース>(毎月分配型)	／	<世界通貨分散コース>(年2回分配型)

* 世界通貨分散コースにおいては、12通貨(豪ドル、ブラジルリアル、メキシコペソ、カナダドル、インドネシアルピア、インドルピー、韓国ウォン、ロシアルーブル、トルコリラ、ユーロ、英ポンド、米ドル)への実質的な配分は12分の1程度ずつになることを基本とします。ただし、投資環境、資金動向、為替の変動等により、実質的な通貨配分が12分の1程度ずつからカイ離する場合があります。

- ・主として円建外国投資信託への投資を通じて、米ドル建てを中心とした世界のエマージング債券(新興経済国の政府および政府機関等の発行もしくは保証する債券(ソブリン債券、準ソブリン債券))に実質的な投資を行います。また、エマージング債券と同様の投資効果を持つ派生商品を活用する場合があります。証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンド(わが国の短期公社債等に投資)への投資も行います。(ファンド・オブ・ファンズ方式)
- ・投資対象とする円建外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。
- ・投資信託証券への運用の指図に関する権限をピムコジャパンリミテッドに委託します。
- ・各ファンドが投資を行う外国投資信託においては、米ドル建てを中心としたエマージング債券等に投資を行う一方で、米ドル売り、各ファンドの対象通貨買いの為替取引を行います。これにより、「為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)／コスト(金利差相当分の費用)」、「為替差益／差損」が生じます。
- ・各ファンドの取引対象通貨の短期金利が米ドルの短期金利より高い場合、当該ファンドでは「為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)」の獲得が期待できます。一方、各ファンドの取引対象通貨の短期金利が米ドルの短期金利より低い場合、当該ファンドでは「為替取引によるコスト(金利差相当分の費用)」が生じます。
- * 為替取引にあたっては、一部新興国通貨の場合、「NDF(ノン・デリバラブル・フォワード)取引」を利用する場合があります。

<世界通貨分散コースについて>

- ・通貨の分散を考慮し、原則として12通貨へ投資を行います。また、各通貨の実質的な配分が概ね均等になることを基本とします。
- ・組入通貨については、世界各国の長期的な経済構造の変化等を考慮し、入替えを行う場合があります。なお、資本規制等が設けられ、継続的な投資が困難となった場合等には、当該通貨を除外することがあります。
- ・世界通貨分散コース(毎月分配型)および世界通貨分散コース(年2回分配型)が投資対象とする投資信託証券については、今後変更となる場合があります。

・豪ドルコース(毎月分配型)、ブラジルリアルコース(毎月分配型)、メキシコペソコース(毎月分配型)、世界通貨分散コース(毎月分配型)は毎月の決算時(20日(休業日の場合は翌営業日))に、豪ドルコース(年2回分配型)、ブラジルリアルコース(年2回分配型)、メキシコペソコース(年2回分配型)、世界通貨分散コース(年2回分配型)は年2回の決算時(6・12月の各20日(休業日の場合は翌営業日))に収益分配を行います。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

<スイッチングについて>

- ・各ファンド間でスイッチングが可能です。スイッチングの際の購入時手数料は、販売会社が定めるものとします。また、換金するファンドに対して税金がかかります。なお、販売会社によっては、全部または一部のスイッチングの取扱いを行わない場合があります。詳しくは、販売会社にご確認ください。

<主な投資制限>

- ・投資信託証券への投資割合に制限を設けません。
- ・外貨建資産への直接投資は行いません。

《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》

委託会社(ファンドの運用の指図等)	三菱UFJ国際投信株式会社
受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)	三菱UFJ信託銀行株式会社
販売会社(購入・換金の取扱い等)	後記の各照会先でご確認いただけます。

設定・運用	三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第404号
加入協会	一般社団法人投資信託協会
	一般社団法人日本投資顧問業協会

PIMCO ニューワールドインカムファンド

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。
したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動リスク

一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

為替変動リスク

■世界通貨分散コース(毎月分配型)および世界通貨分散コース(年2回分配型)以外の各コース
各ファンドの組入外貨建資産は主として米ドル建て資産ですが、米ドル売り、各ファンドの対象通貨買いの為替取引を行うため、各ファンドの対象通貨の対円での為替変動の影響を大きく受けます。
為替取引を行う場合で当該通貨の金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分が為替取引によるコストとなります。
為替に関する取引規制等がある場合など、通貨によっては、取引量が少なく需給動向等の影響を受けやすいため、市場で取引もしくは公表されている金利と大きく乖離した金利水準をもとに取引されることがあります。このため、当該通貨の金利が米ドルより高いときであっても、為替取引によるコストが生じる場合があります。

■世界通貨分散コース(毎月分配型)および世界通貨分散コース(年2回分配型)

各ファンドの組入外貨建資産は主として米ドル建て資産ですが、米ドル売り、世界通貨買いの為替取引を行うため、当該世界通貨の対円での為替変動の影響を大きく受けます。
為替取引を行う場合で当該通貨の金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分が為替取引によるコストとなります。
為替に関する取引規制等がある場合など、通貨によっては、取引量が少なく需給動向等の影響を受けやすいため、市場で取引もしくは公表されている金利と大きく乖離した金利水準をもとに取引されることがあります。このため、当該通貨の金利が米ドルより高いときであっても、為替取引によるコストが生じる場合があります。

信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

カントリー・リスク

新興国への投資は、先進国への投資を行う場合に比べ、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響を受けることにより、価格変動・為替変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

■その他の留意点

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

■リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。
また、定期的開催されるリスク管理に関する会議体等において、それらの状況の報告を行うほか、必要に応じて改善策を審議しています。
なお、運用委託先で投資リスクに対する管理体制を構築していますが、委託会社においても運用委託先の投資リスクに対する管理体制や管理状況等をモニタリングしています。

PIMCO ニューワールドインカムファンド

手続・手数料等

■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※基準価額は1万円当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
購入代金	販売会社が指定する期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込不可日	次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 ・ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行の休業日 ・ニューヨークにおける債券市場の取引停止日 2016年の該当日は1月18日、2月15日、3月25日、5月30日、7月4日、9月5日、11月11日、11月24日、12月26日です。なお、休業日および取引停止日は変更される場合があります。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象国における非常事態(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等)による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等)があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。
信託期間	■豪ドルコース(毎月分配型)／ブラジルリアルコース(毎月分配型) 2021年6月21日まで(2011年3月31日設定) ■メキシコペソコース(毎月分配型) 2021年6月21日まで(2013年1月16日設定) ■豪ドルコース(年2回分配型)／ブラジルリアルコース(年2回分配型)／メキシコペソコース(年2回分配型) 2021年6月21日まで(2013年2月20日設定) ■世界通貨分散コース(毎月分配型)／世界通貨分散コース(年2回分配型) 2021年6月21日まで(2013年7月1日設定)
繰上償還	各ファンドについて、受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合、または各ファンドの受益権の口数を合計した口数が50億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となる場合があります。 ■世界通貨分散コース(毎月分配型)／世界通貨分散コース(年2回分配型) 投資対象とするすべての外国投資信託が償還する場合には繰上償還となります。 ■各ファンド(世界通貨分散コース(毎月分配型)、世界通貨分散コース(年2回分配型)を除く) 投資対象とする外国投資信託が償還する場合には繰上償還となります。
決算日	■豪ドルコース(毎月分配型)／ブラジルリアルコース(毎月分配型)／メキシコペソコース(毎月分配型)／世界通貨分散コース(毎月分配型) 毎月20日(休業日の場合は翌営業日) ■豪ドルコース(年2回分配型)／ブラジルリアルコース(年2回分配型)／メキシコペソコース(年2回分配型)／世界通貨分散コース(年2回分配型) 毎年6・12月の20日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	■豪ドルコース(毎月分配型)／ブラジルリアルコース(毎月分配型)／メキシコペソコース(毎月分配型)／世界通貨分散コース(毎月分配型) 毎月の決算時に分配を行います。 ■豪ドルコース(年2回分配型)／ブラジルリアルコース(年2回分配型)／メキシコペソコース(年2回分配型)／世界通貨分散コース(年2回分配型) 年2回の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、「NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)」の適用対象です。配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

PIMCO ニューワールドインカムファンド

手続・手数料等

■ファンドの費用・税金

・ファンドの費用

【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】

お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に対して、 上限3.24%(税抜 3%) (販売会社が定めます) (購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)
信託財産留保額	ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	日々の純資産総額に対して、 年率1.782%(税抜 年率1.65%) をかけた額 ファンドが投資対象とする投資信託証券では運用管理費用(信託報酬)はかかりませんので、お客さまが負担する実質的な運用管理費用(信託報酬)は上記と同じです。
その他の費用・ 手数料	監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。
なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

・購入時手数料に関する留意事項

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体的な金額例は以下の通りです。下記はあくまでも例示であり、手数料率は販売会社ごとに異なります。また、販売会社によっては金額指定、口数指定どちらかのみのお取扱いになる場合があります。
くわしくは、販売会社にご確認ください。

【金額を指定して購入する場合】

購入金額に購入時手数料を加えた額が指定金額となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、お支払いいただく100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

【口数を指定して購入する場合】

～手数料率3.24%(税込)の例～
例えば、基準価額10,000円(1万口当たり)の時に100万口ご購入いただく場合、購入時手数料=(10,000円÷1万口)×100万口×3.24%=32,400円となり、合計1,032,400円をお支払いいただくこととなります。

・税金

個人受益者については、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。
なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となることがあります。
くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。／販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入していません。／投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。／投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡りする最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 本資料は、当ファンドの運用状況をお知らせするために三菱UFJ国際投信が作成した資料です。／本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。／本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。／本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》

＜お客様専用フリーダイヤル＞ **0120-151034**
受付時間／9:00～17:00(土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

＜オフィシャルサイト＞ <http://www.am.mufg.jp/>

販売会社情報一覧表

ファンド名称: PIMCO ニューワールドインカムファンド

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
丸三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第167号	○			